

○ 経済学研究科

暴風警報発令時等の緊急時における入試の対応について

(1) 暴風警報発令時における入試について

名古屋地方気象台から、「愛知県西部」又は「尾張東部、尾張西部、知多地域、西三河南部、西三河北西部のいずれかの区域」又は「名古屋市」に暴風警報が発令された場合の試験については、以下のとおりの取り扱いとします。

① 試験の開始前に暴風警報が発令された場合

所 属	区 分	
	解除の時刻	試験を行う時限
経済学研究科	午前 8 時まで	通常通り
	午前 8 時から午前 11 時まで	午後 1 時から繰り下げ実施（午後 1 時以降の試験のみの場合通常通り）
	午前 11 時すぎ	原則中止※

※ただし、23 日（木）が中止となった場合の取り扱いは以下のとおりとします。

【24 日（金）の口述試験が通常通り実施できる場合】

23 日（木）実施分（学科及び英語あるいは小論文）については、24 日（金）午後 1 時開始とします。

【24 日（金）の口述試験が午後 1 時開始となった場合】

23 日（木）実施分（学科及び英語あるいは小論文）については、24 日（金）午後 3 時以降開始とします。

【24 日（金）の口述試験も実施できない場合】

対応については、改めて周知を行います。

② 試験の開始後に暴風警報が発令された場合

経済学研究科	暴風警報発令後に開始される試験科目等は原則中止とします。 中止した場合の対応については、受験生へ周知を図ります。
--------	---

暴風警報発令時に行っている試験科目等については、原則として中止としますが、状況によっては続行する判断もありえます。（試験終了時には警報が解除される見込みがある場合や、帰宅させる方が危険な場合）

(2) 大雨・強風・大雪等の気象状況等公共交通機関の運休の場合

交通途絶により受験できなかった者に対しては、個別で対応を協議し、受験生への周知を図ります。